

お守りの中に入っている護符について

昔ながらのお守り袋などには護符と呼ばれるものが御神体として入っています。

これは、願い事が叶いやすくなるように寺が仏様の働きや神様の働きを護符としてパッケージングしたものです。

例えば、恋愛に長じた愛染明王や不幸の身代わりになってくださる身代わり不動など。

そして出来るだけ早くご利益がでるように様々な工夫が施されています。

よく、お守り袋の中身を取り出すとご利益がなくなるとか、開けてはだめだとか様々な事が言われていますが、基本的には問題ありません。

しかし、開けることによって中身を見てイメージと違う、幻滅した、なんかご利益なさそう、などと思うと、これは必ずご利益がなくなります。

そもそも、お守りのご利益が出る最大の鍵は信じる心です。これを自ら無くしてしまえば、どんな素晴らしいお守りでも効果を失います。

ですから、よくわからないという方はあまり袋を開けないほうが良いかもしれません。それに出す時に、中の護符を傷めたりすると気分的に嫌な気持ちになりやすいので、出す時は注意が必要です。興味本位程度なら開けないほうがよいのです。

ふりがな付き（重要語彙）

^{まも}お守り^{なか はい}の中に入っている^{ご ふ}護符について

^{むかし}昔ながら^{まも ふくろ}のお守り袋などには^{ご ふ}護符^よと呼ばれるものが^{ご しんたい}御神体^{はい}として入っています。

これは、^{ねが}願い^{ごと}事が^{かな}叶いやすくなるように寺が^{てら}仏様^{ほとけさま}の働きや^{はたら}神様の働きを^{ご ふ}護符として^{パッケージング}パッケージングしたものです。

^{たと}例えば、^{れんあい}恋愛^{ちょう}に^{あいぜんみょうおう}長じた^{ふ こう}愛染明王や不幸の^{み が}身代わりになってくださる^{み が}身代わり^{ふ どう}不動など。

そして出来るだけ早く^{ご りやく}ご利益がでるように^{さまざま}様々な工夫が^{くふう}施^{ほどこ}されています。

よく、お守り袋の中身を^と取り出すと^{ご りやく}ご利益がなくなるとか、^あ開けてはだめだとか^{さまざま}様々な事^{こと}が言われていますが、^{き ほんてき}基本的には^{もんだい}問題ありません。

しかし、^あ開けることによって^{なかみ}中身を見て^みイメージと^{ちが}違う、^{げんめつ}幻滅した、^{ご りやく}なんか^{おも}ご利益なさそう、などと思うと、これは必ず^{かなら}ご利益がなくなります。

そもそも、お守り^{ご りやく}の^でご利益が出る^{さいだい}最大の^{かぎ}鍵は^{しん}信じる^{こころ}心です。これを^{みずか}自ら^な無くしてしまえば、^{す ば}どんな^{まも}素晴らしいお守り^ごでも^{こう か}効果^{うしな}を失います。

ですから、よくわからないという方はあまり^{かた}袋^{ふくろ}を開けないほうが^あ良い^よかもしれません。それに^だ出す^{とき}時に、^{なか}中の^{ご ふ}護符を^{いた}傷めたりすると^{き ぶんてき}気分的に^{いや}嫌な^{き も}気持ちになりやすいので、^だ出す^{とき}時は^{ちゅうい}注意^{ひつよう}が必要です。^{きょうみほんい}興味本位^{い ていど}程度なら開けないほうがよいのです。

重要語彙

- ・ **お守り**：神社や寺で買う、災いから守ってくれる小さな袋
- ・ **昔ながら**：昔から変わらず続いている
- ・ **御神体**：神様の力が宿っているとされる神聖な物
- ・ **仏様**：仏教で信仰される、悟りを開いた存在
- ・ **パッケージングした**：きれいに包んでまとめた状態にする
- ・ **～に長じる**：～が得意で優れた力を持っている
- ・ **愛染明王**：恋愛や愛情を守ってくれる仏教の神様
- ・ **身代わり**：他の人の代わりに苦しみや不幸を受けること
- ・ **身代わり不動**：人の不幸を代わりに受けてくれる仏様
- ・ **ご利益**：神様や仏様から授かるありがたい恵み
- ・ **施す**：効果が出るように工夫や手を加える
- ・ **取り出す**：中に入っているものを外に出す
- ・ **幻滅する**：期待していたものにがっかりする
- ・ **そもそも**：根本的に、最初から考えてみると
- ・ **どんな～でも**：どのような～であっても、すべての～
- ・ **傷める**：物を扱っているうちに傷をつけたり壊したりする
- ・ **興味本位**：ただ面白そうだと思うだけで深い意味がない